

武蔵野市
「地域コミュニティについての市民アンケート調査」
報告書(速報版)

令和6年7月

目 次

1. 実施概要	1
(1) 調査目的	1
(2) 調査概要	1
(3) 調査結果をみる上での注意事項	2
2. 調査結果	3
(1) 回答者属性	3
① 性別	3
② 年齢	3
③ 職業	3
④ 世帯構成	4
⑤ 家族形態	4
⑥ 居住形態	5
⑦ 居住地区	5
⑧ 市内での通算居住年数	5
⑨ 地域や市政に関する普段の情報収集の方法	6
(2) 地域との関わり	6
① 近隣住民との近所づきあいの程度	6
② 「地域」に対して愛着を感じているか	7
③ 「地域」との関わりについての今後の意向	7
④ 「地域」をより良くするために、どのようなつながりがあると良いと思うか	8
⑤ 「地域」をより良くするという観点から関心のあるテーマ	9
(3) 地域コミュニティ活動への参加状況について	10
① 地域コミュニティ活動への参加状況	10
② 現在参加している地域コミュニティ活動の団体	11
③ 地域コミュニティ活動に参加した「きっかけ」	12
④ 参加している地域コミュニティ活動が抱えている課題	13
⑤ コロナ禍前と現在での活動の変化	14
⑥ 現在、地域コミュニティ活動に参加していない理由	15
⑦ 今後新しく地域コミュニティ活動に参加したいか	16
⑧ 今後参加したい地域コミュニティ活動の団体	16
⑨ 地域コミュニティ活動参加しやすくなるためにあるとよい条件	17
(4) コミュニティセンターについて	18
① 武蔵野市のコミュニティセンターを知っているか	18

②	コミュニティセンターが地域住民によって運営されていることを知っているか.....	19
③	利用しているコミュニティセンター	19
④	コミュニティセンターを利用する際の集まりの規模.....	20
⑤	コミュニティセンターの運営に携わった経験	21
⑥	コロナ禍前と現在でのコミュニティセンターの利用に関する変化.....	21
⑦	コミュニティセンターの利用頻度	22
⑧	コミュニティセンターを利用したことがない・あまり利用していない理由.....	22
⑨	コミュニティセンターに求める機能・役割	24
⑩	コミュニティセンターに求める空間や設備	26
⑪	コミュニティセンターの運営・企画などに参加したいと思うか.....	27
⑫	コミュニティセンターにおいて活動してみたいこと	28

1. 実施概要

(1) 調査目的

第五期武蔵野市コミュニティ評価委員会の実施にあたって、地域コミュニティに関する意識やコミュニティセンターの認知度及びそこでの活動の現状等を把握し、地域コミュニティの拠点であるコミュニティセンターに、今後どのような機能・役割が必要かを検討する際の基礎資料とすることを目的として、無作為に抽出した武蔵野市民 2,500 名に対し、「地域コミュニティについての市民アンケート調査」を実施した。アンケート調査の実施概要は以下に示すとおりである。

(2) 調査概要

【調査対象】

- ・ 住民基本台帳から無作為抽出により満 15 歳以上の男女 2,500 人を抽出

【調査内容】

(1)回答者属性

- ・ 性別、年齢、職業、世帯構成、家族形態、居住形態、居住地区、居住年数、地域や市政に関する普段の情報収集の方法

(2)地域との関わり

- ・ 近所住民との近所づきあいの程度、「地域」に愛着を感じるか、「地域」との関わりへの今後の意向、「地域」をよりよくするためにあると良いつながり、「地域」をより良くする観点からの関心テーマ

(3)地域コミュニティ活動について

- ・ 地域コミュニティへの参加状況、現在参加している地域コミュニティ活動団体、参加したきっかけ、参加している地域コミュニティ活動が抱えている課題、コロナ禍前後における地域コミュニティ活動での変化、（現在、地域コミュニティ活動に参加していない層の）参加していない理由、今後の活動への参加意欲・参加したい団体、地域コミュニティ活動に参加しやすくなるために必要なこと

(4)コミュニティセンターについて

- ・ コミュニティセンターの認知度、コミュニティセンターが地域住民によって運営されていることの認知度、利用しているコミュニティセンター、コミュニティセンターを利用する際の集まりの規模、コミュニティセンターの運営に携わった経験、コロナ禍前後におけるコミュニティセンターの利用に関する変化、コミュニティセンターの利用頻度、（現在、コミュニティセンターを利用していない・利用頻度が低い層の）コミュニティセンターを利用していない理由、コミュニティセンターに求める機能・役割、コミュニティセンターに求める空間や設備、コミュニティセンターの企画・運営への関心意向、コミュニティセンターにおいて活動してみたいこと

【調査方法】

- ・ 郵送配布、留置後、郵送又はインターネット上の回答フォームより回収

【調査時期】

- ・ 2024 年 6 月 14 日（金）～2024 年 7 月 12 日（金）

※7月3日（水）にお礼状兼督促ハガキを送付。

※本報告においては、紙回収は7月19日（金）、WEB回収は7月24日（水）回収分までを集計対象としている。なお、最終報告にてどこまで含めるかは検討中。

【回収状況】

- ・ 969票／2,500票（回収率：38.8%）
※重複回答と思われる3サンプルを集計対象外としている。

（３）調査結果をみる上での注意事項

- ・ 本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数を指す。
- ・ 百分率（％）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示している。したがって、四捨五入の影響で、％を足し合わせて100％にならない場合がある。
- ・ 本文中の％の小計は、各項目の値を四捨五入した上で足し合わせている。
- ・ 読みやすさの観点から、0.1％未満のデータラベルは省略しているが、一部のグラフでは追加で非表示としている場合がある。
- ・ 本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。

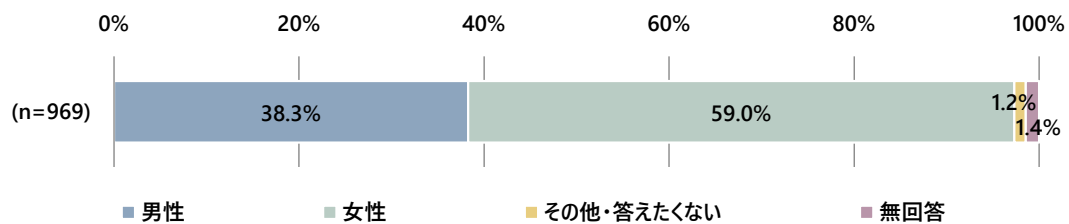
2. 調査結果

(1) 回答者属性

① 性別

性別では、「女性」の割合が 59.0%、「男性」の割合が 38.3%である。

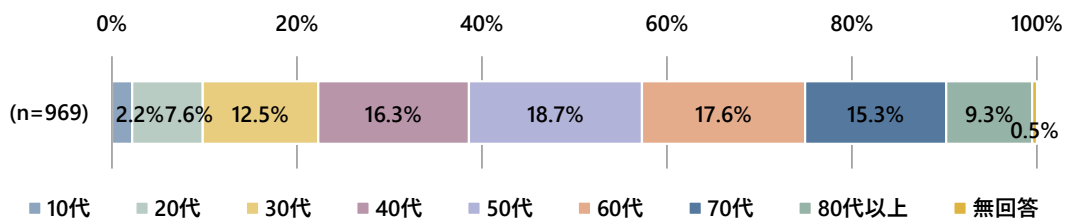
図表 1 性別（単一回答）



② 年齢

年齢は、「50 代」の割合が最も高く 18.7%である。次いで、「60 代（17.6%）」、「40 代（16.3%）」である。

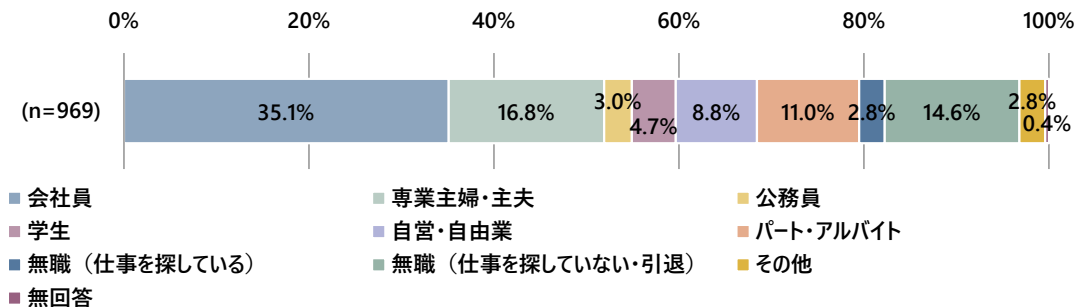
図表 2 年齢（単一回答）



③ 職業

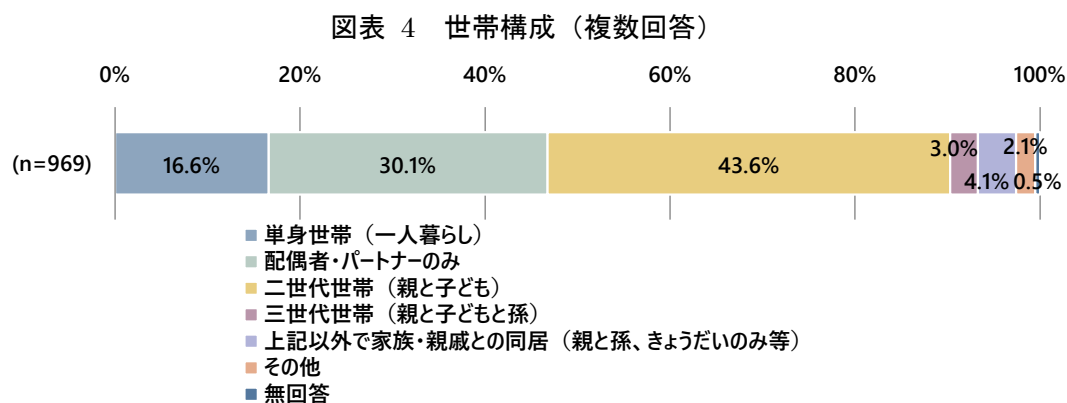
職業は、「会社員」の割合が最も高く 35.1%である。次いで、「専業主婦・主夫（16.8%）」、「無職（仕事を探していない・引退）（14.6%）」である。

図表 3 職業（単一回答）



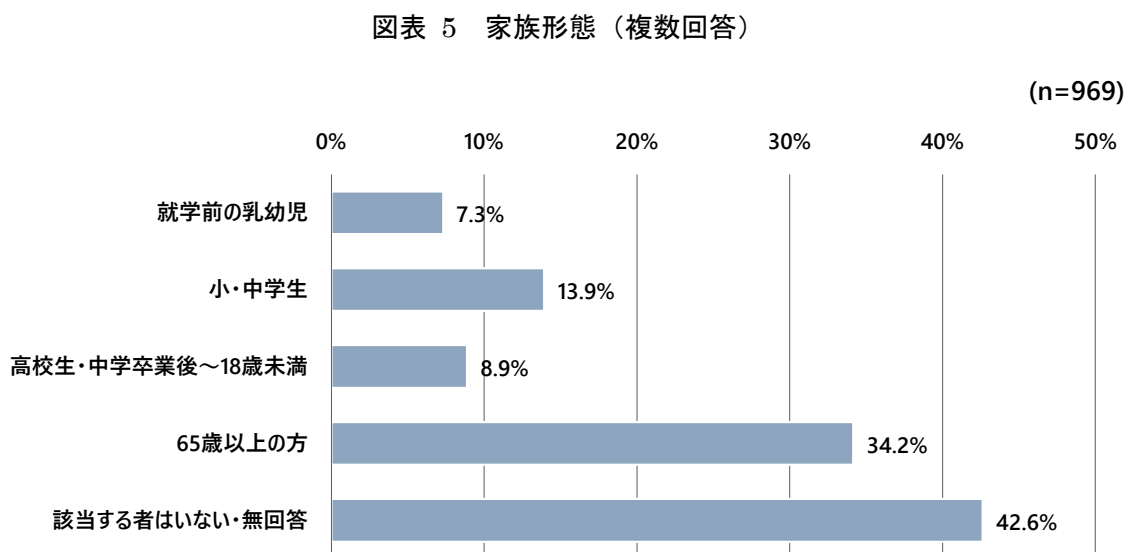
④ 世帯構成

世帯構成は、「二世帯世帯（親と子ども）」の割合が最も高く 43.6%である。次いで、「配偶者・パートナーのみ（30.1%）」、「単身世帯（一人暮らし）（16.6%）」である。



⑤ 家族形態

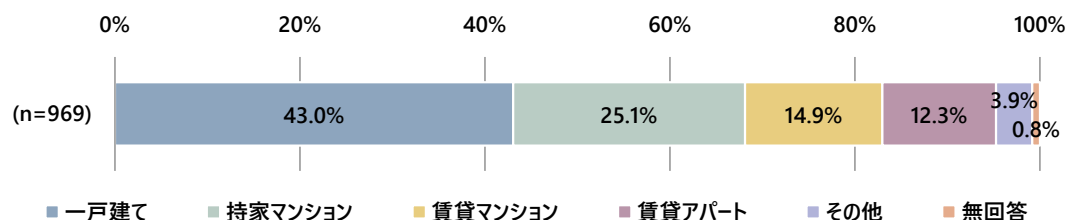
家族形態は、無回答を除くと「65歳以上の方」の割合が最も高く 34.2%である。次いで、「小・中学生（13.9%）」、「高校生・中学卒業後～18歳未満（8.9%）」である。



⑥ 居住形態

居住形態は、「一戸建て」の割合が最も高く 43.0%である。次いで、「持家マンション (25.1%)」、「賃貸マンション (14.9%)」である。

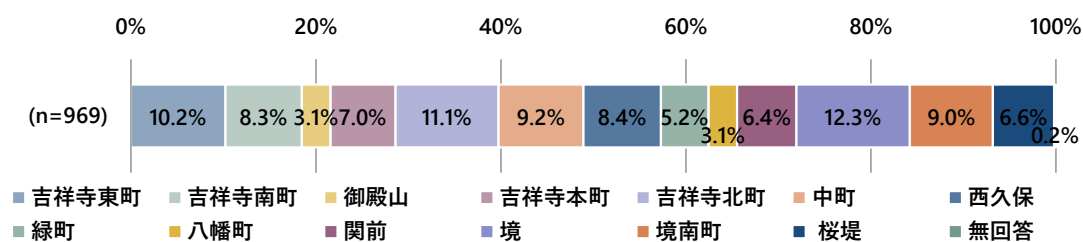
図表 6 居住形態（単一回答）



⑦ 居住地区

居住地区は、「境」の割合が最も高く 12.3%である。次いで、「吉祥寺北町 (11.1%)」、「吉祥寺東町 (10.2%)」である。

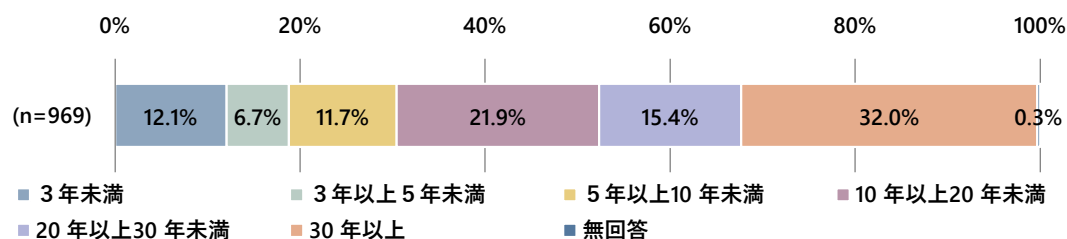
図表 7 居住地区（単一回答）



⑧ 市内での通算居住年数

市内での通算居住年数は、「30 年以上」の割合が最も高く 32.0%である。次いで、「10 年以上 20 年未満 (21.9%)」、「20 年以上 30 年未満 (15.4%)」である。

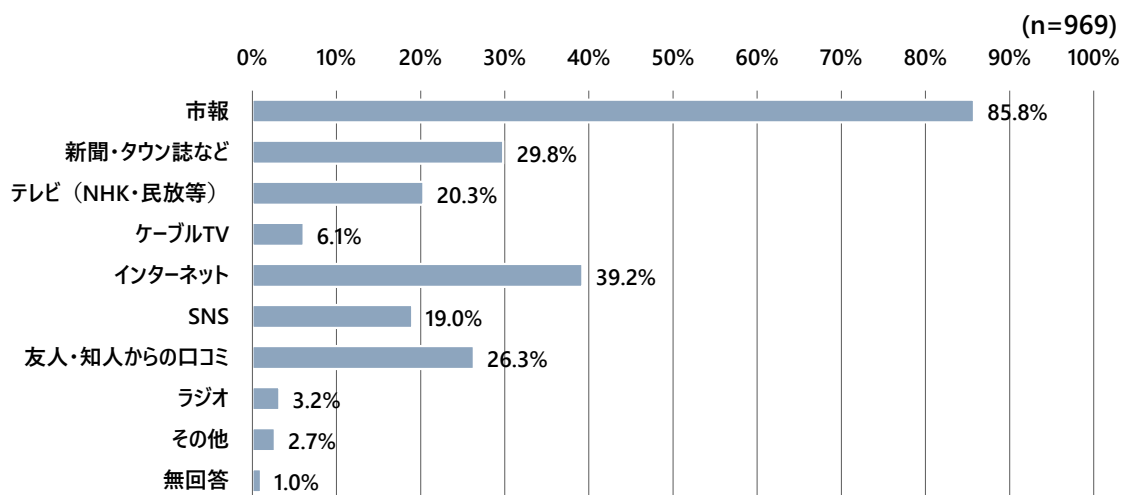
図表 8 市内での通算居住年数（単一回答）



⑨ 地域や市政に関する普段の情報収集の方法

普段の情報収集方法は、「市報」の割合が最も高く 85.8%である。次いで、「インターネット（39.2%）」、「新聞・タウン誌など（29.8%）」である。

図表 9 地域や市政に関する普段の情報収集の方法（複数回答）

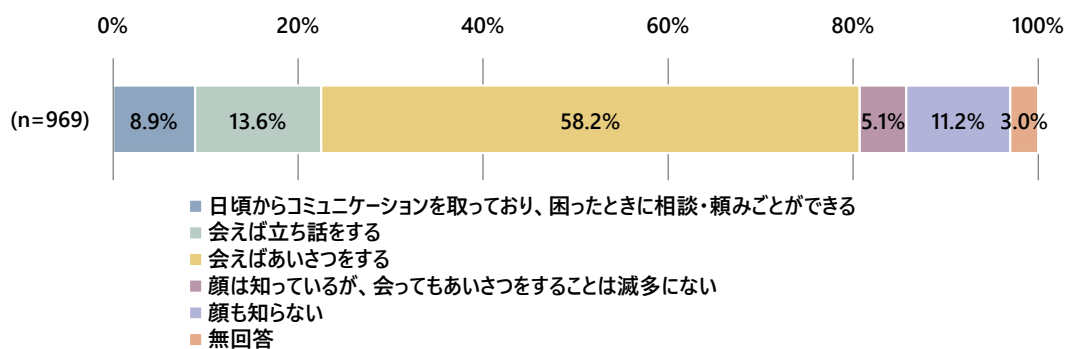


（２）地域との関わり

① 近隣住民との近所づきあいの程度

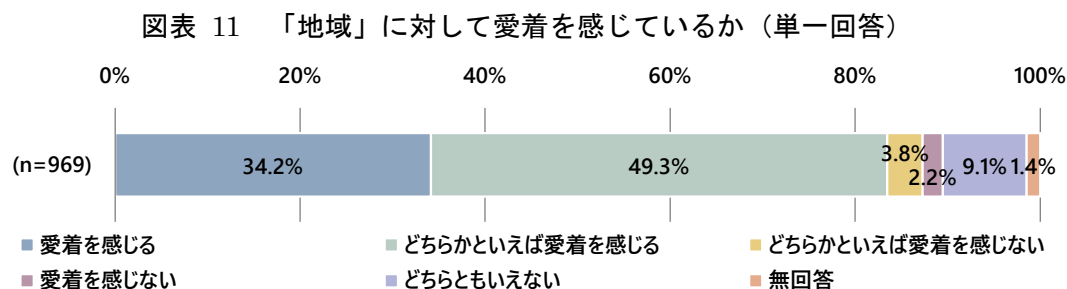
近隣住民との近所づきあいの程度を尋ねたところ、「会えばあいさつをする」の割合が最も高く 58.2%である。次いで、「会えば立ち話をする（13.6%）」、「顔も知らない（11.2%）」である。

図表 10 近隣住民との近所づきあいの程度（単一回答）



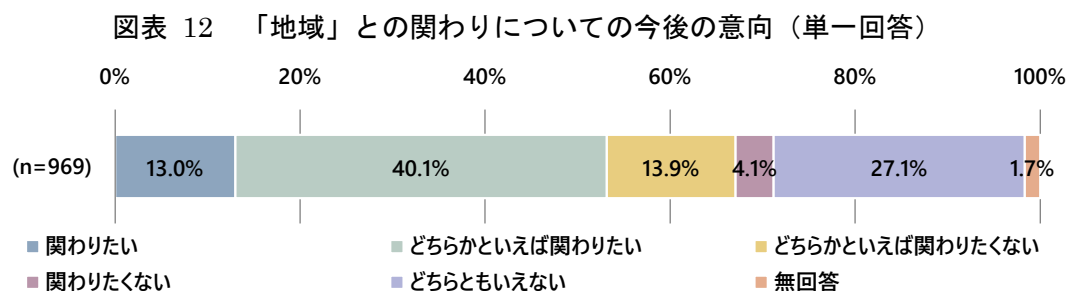
② 「地域」に対して愛着を感じているか

「地域」に対して愛着を感じているかを尋ねたところ、「どちらかといえば愛着を感じる」の割合が最も高く 49.3%である。次いで、「愛着を感じる (34.2%)」、「どちらともいえない (9.1%)」である。



③ 「地域」との関わりについての今後の意向

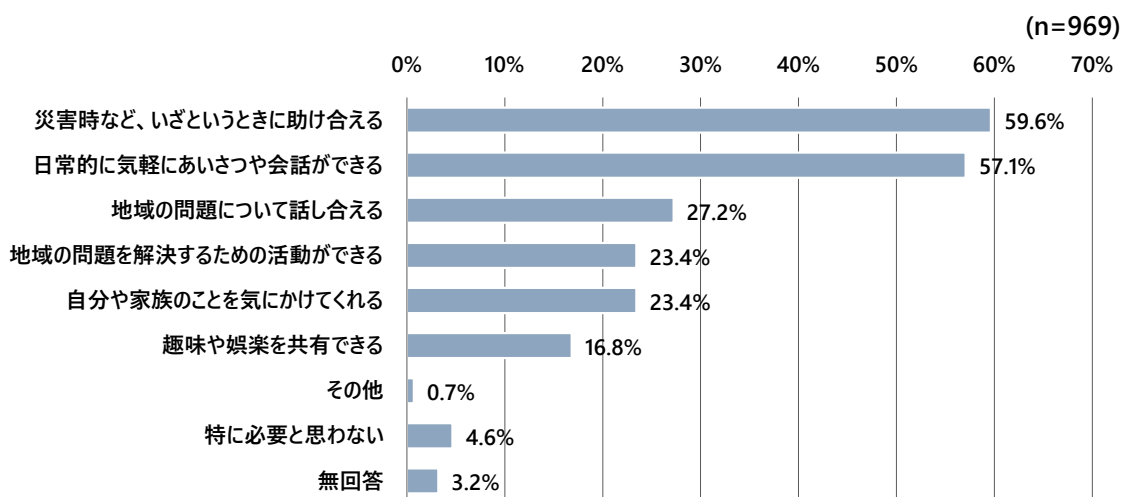
「地域」との関わりについての今後の意向を尋ねたところ、「どちらかといえば関わりたい」の割合が最も高く 40.1%である。次いで、「どちらともいえない (27.1%)」、「どちらかといえば関わりたくない (13.9%)」である。



④ 「地域」をより良くするために、どのようなつながりがあると良いと思うか

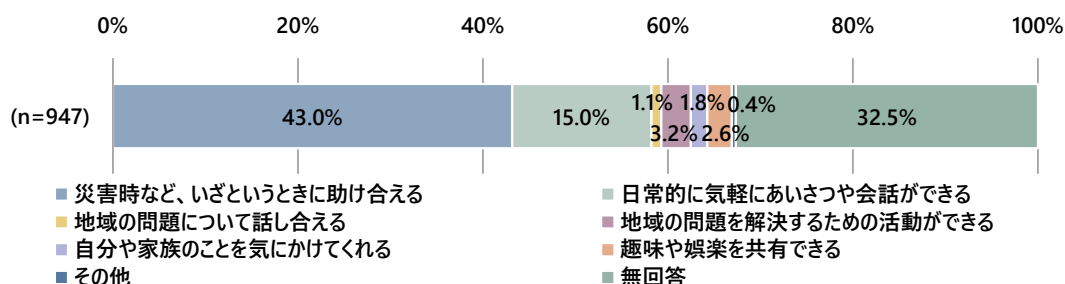
「地域」をより良くするために、どのようなつながりがあると良いと思うかを複数回答で尋ねたところ、「災害時など、いざというときに助け合える」の割合が最も高く 59.6%である。次いで、「日常的に気軽にあいさつや会話ができる (57.1%)」、「地域の問題について話し合える (27.2%)」、「地域の問題を解決するための活動ができる (23.4%)」、「自分や家族のことを気にかけてくれる (23.4%)」、「趣味や娯楽を共有できる (16.8%)」、「その他 (0.7%)」、「特に必要と思わない (4.6%)」、「無回答 (3.2%)」である。

図表 13 「地域」をより良くするために、どのようなつながりがあると良いと思うか
(複数回答)



また、その中でも「特にあてはまるもの」を尋ねたところ、「災害時など、いざというときに助け合える」の割合が最も高く 43.0%である。次いで、「日常的に気軽にあいさつや会話ができる (15.0%)」、「地域の問題を解決するための活動ができる (3.2%)」である（無回答を除き言及）。

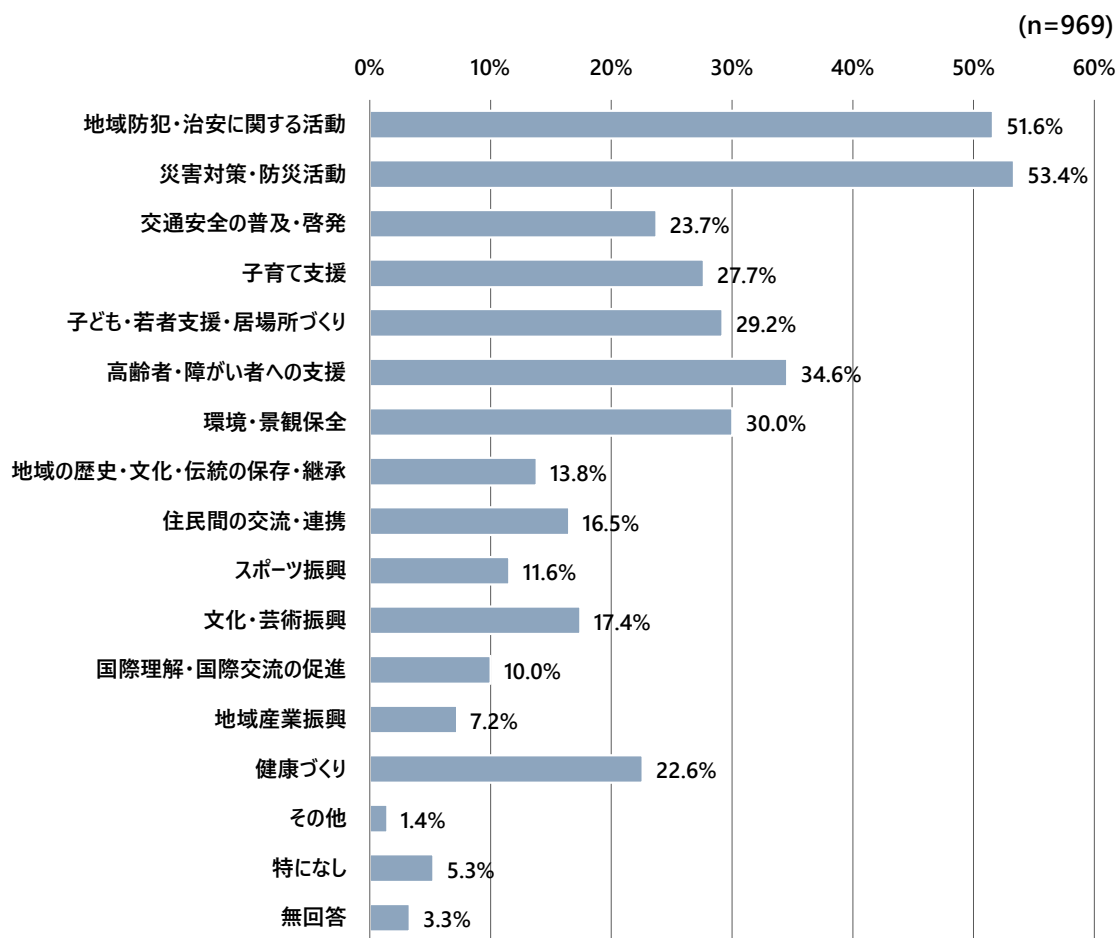
図表 14 「地域」をより良くするために、どのようなつながりがあると良いか【特に】
(単一回答)



⑤ 「地域」をより良くするという観点から関心のあるテーマ

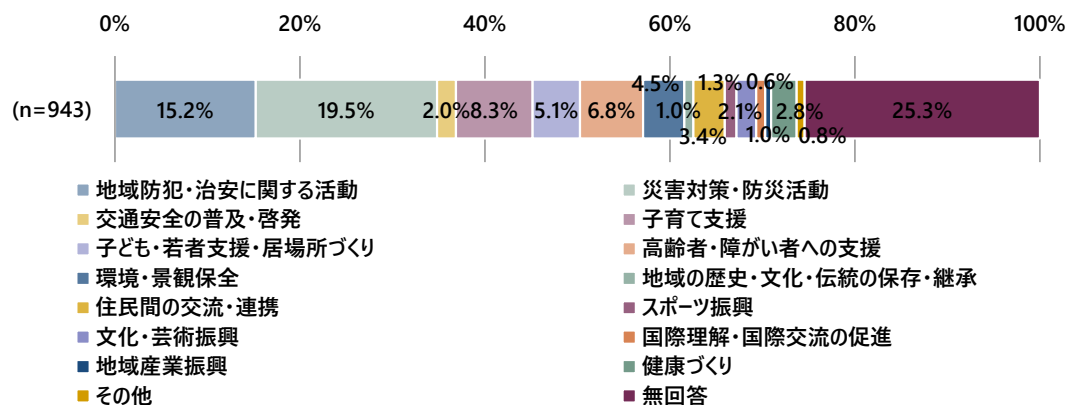
「地域」をより良くするという観点から関心のあるテーマを複数回答で尋ねたところ、「災害対策・防災活動」の割合が最も高く 53.4%である。次いで、「地域防犯・治安に関する活動（51.6%）」、「高齢者・障がい者への支援（34.6%）」である。

図表 15 「地域」をより良くするという観点から関心のあるテーマ
(複数回答)



また、その中でも「特にあてはまるもの」を尋ねたところ、無回答を除くと「災害対策・防災活動」の割合が最も高く 19.5%である。次いで、「地域防犯・治安に関する活動(15.2%)」、「子育て支援 (8.3%)」である。

図表 16 「地域」をより良くするという観点から、あなたの関心のあるテーマ
【特に】(単一回答)

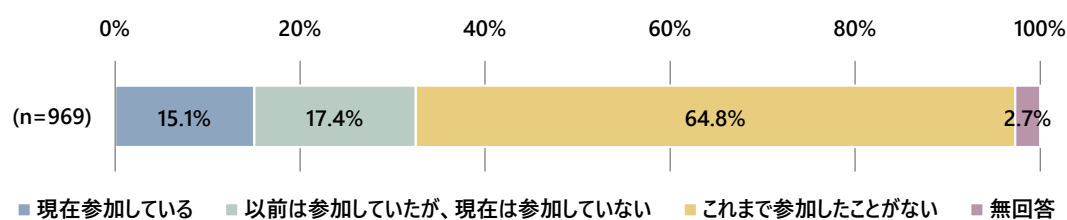


(3) 地域コミュニティ活動への参加状況について

① 地域コミュニティ活動への参加状況

地域コミュニティ活動への参加状況を尋ねたところ、「これまで参加したことがない」の割合が最も高く 64.8%である。次いで、「以前は参加していたが、現在は参加していない (17.4%)」、「現在参加している (15.1%)」である。

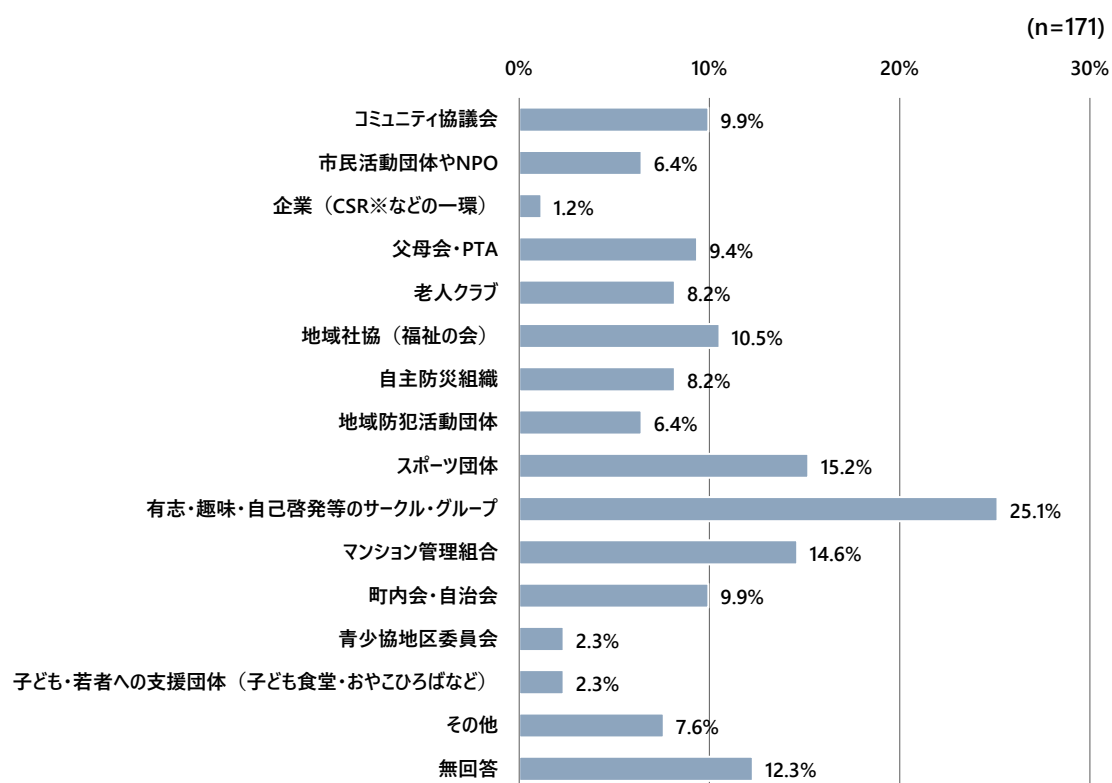
図表 17 地域コミュニティ活動への参加状況 (単一回答)



② 現在参加している地域コミュニティ活動の団体

地域コミュニティ活動に参加している者に、現在参加している地域コミュニティ活動の団体を複数回答で尋ねたところ、「有志・趣味・自己啓発等のサークル・グループ」の割合が最も高く 25.1%である。次いで、「スポーツ団体(15.2%)」、「マンション管理組合(14.6%)」である。

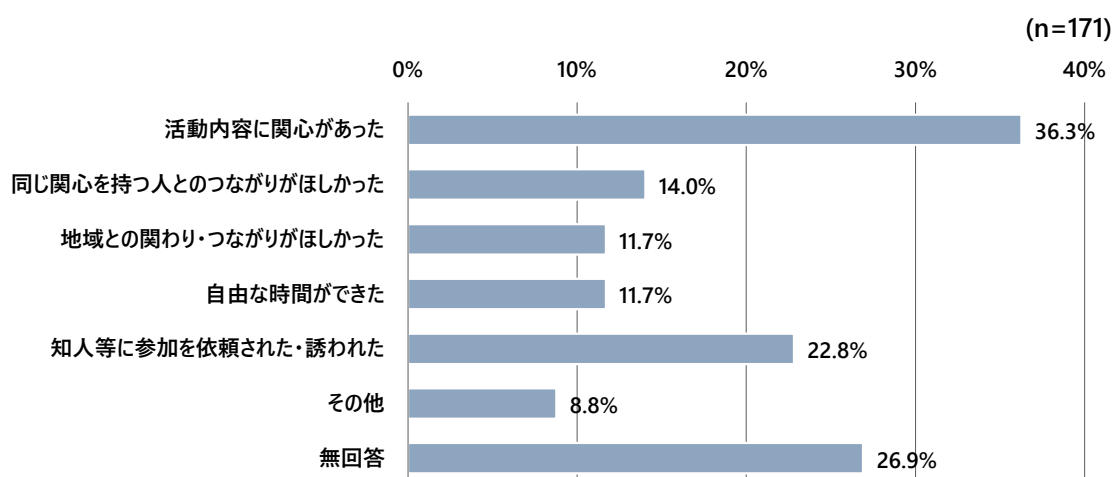
図表 18 現在参加している地域コミュニティ活動の
(①で「現在参加している」と回答) (複数回答)



③ 地域コミュニティ活動に参加した「きっかけ」

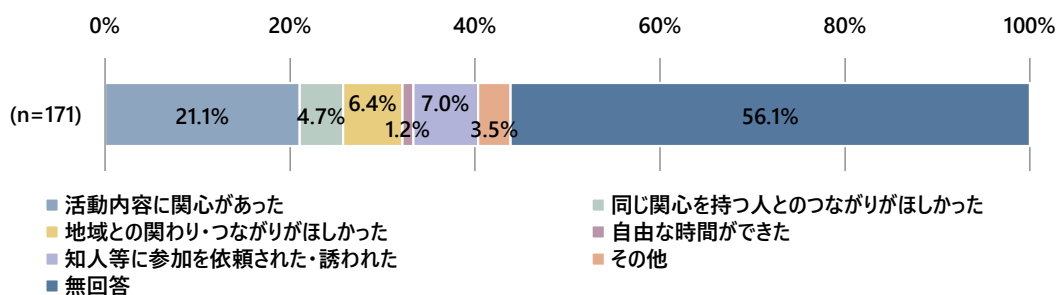
地域コミュニティ活動に参加している者に、参加した「きっかけ」を複数回答で尋ねたところ、「活動内容に関心があった」の割合が最も高く 36.3%である。次いで、「知人等に参加を依頼された・誘われた（22.8%）」、「同じ関心を持つ人とのつながりがほしかった（14.0%）」である（無回答を除き言及）。

図表 19 地域コミュニティ活動に参加した「きっかけ」
（①で「現在参加している」と回答）（複数回答）



また、その中でも「特にあてはまるもの」を尋ねたところ、無回答を除くと「活動内容に関心があった」の割合が最も高く 21.1%である。次いで、「知人等に参加を依頼された・誘われた（7.0%）」、「地域との関わり・つながりがほしかった（6.4%）」である。

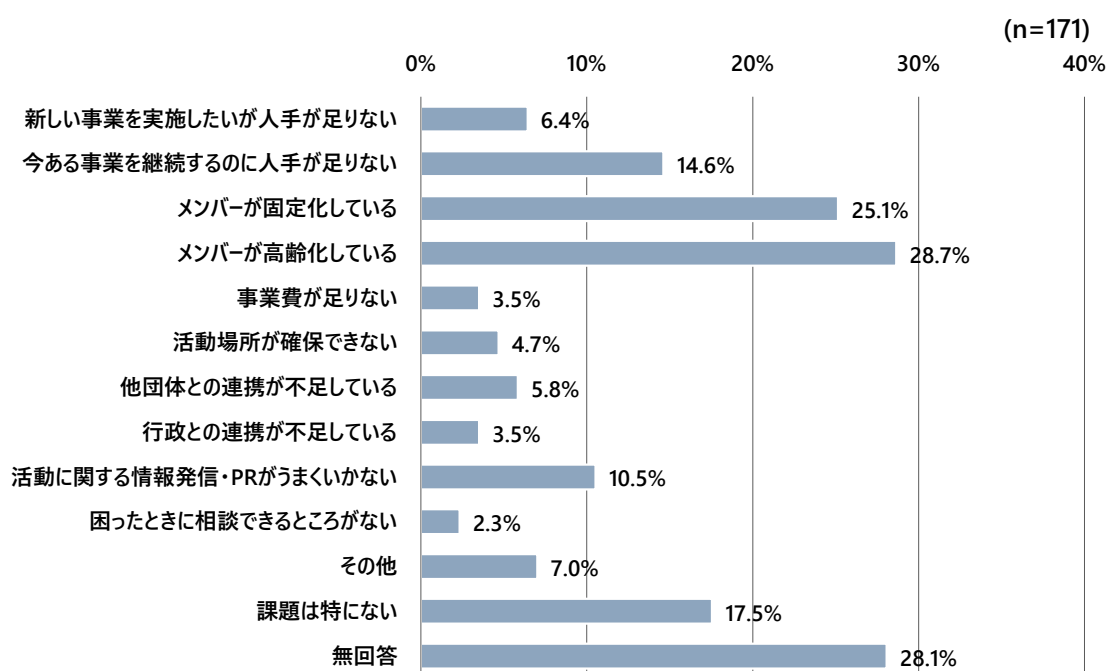
図表 20 地域コミュニティ活動に参加した「きっかけ」【特に】（単一回答）



④ 参加している地域コミュニティ活動が抱えている課題

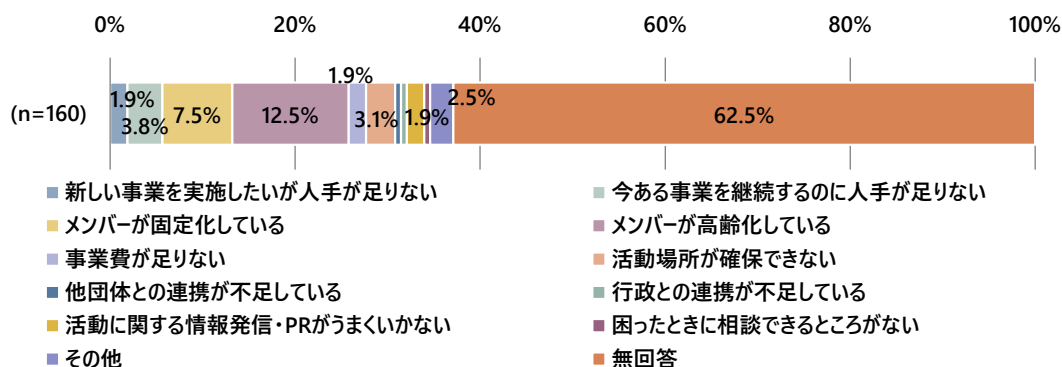
地域コミュニティ活動に参加している者に、参加している地域コミュニティ活動が抱えている課題を複数回答で尋ねたところ、「メンバーが高齢化している」の割合が最も高く28.7%である。次いで、メンバーが固定化している（25.1%）、「課題は特にない（17.5%）」である（無回答を除き言及）。

図表 21 参加している地域コミュニティ活動が抱えている課題
（①で「現在参加している」と回答）（複数回答）



また、その中でも「特にあてはまるもの」を尋ねたところ、無回答を除くと「メンバーが高齢化している」の割合が最も高く12.5%である。次いで、「メンバーが固定化している（7.5%）」、「今ある事業を継続するのに人手が足りない（3.8%）」である。

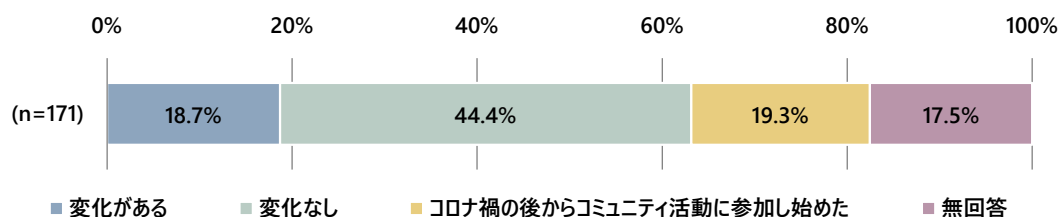
図表 22 参加している地域コミュニティ活動が抱えている課題【特に】（単一回答）



⑤ コロナ禍前と現在での活動の変化

地域コミュニティ活動に参加している者に、コロナ禍前と現在の活動で変化があったかを尋ねたところ、「変化なし」の割合が最も高く 44.4%である。次いで、「コロナ禍の後からコミュニティ活動に参加し始めた (19.3%)」、「変化がある (18.7%)」である。

図表 23 コロナ禍前と現在での活動の変化
(①で「現在参加している」と回答) (単一回答)



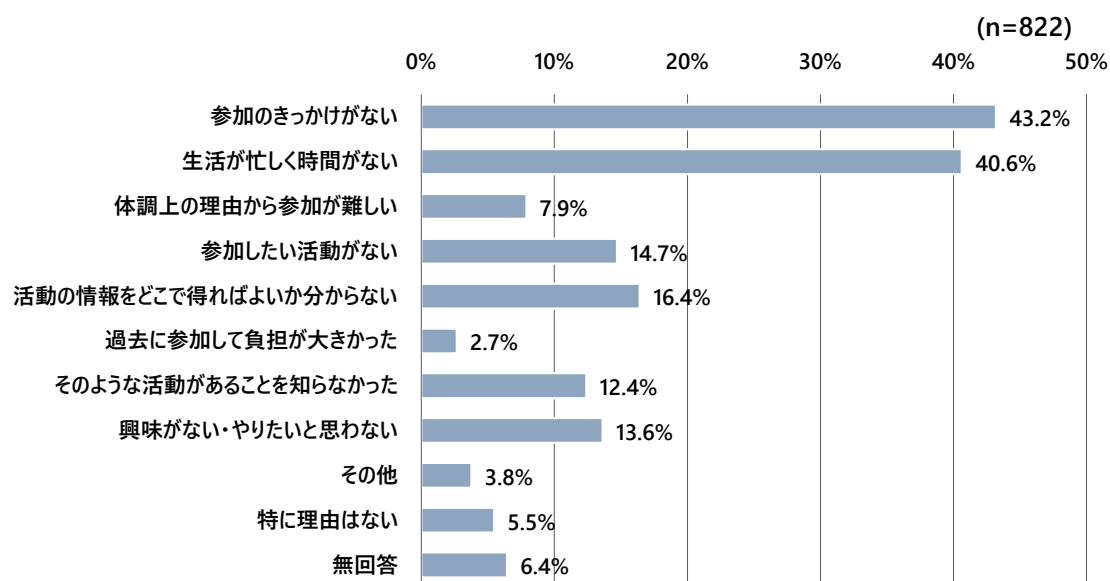
【具体的な変化に関する自由回答】※基本的には原文のまま記載しているが、一部表現等を修正している。

- ・ 対面からオンラインになったり、活動そのものが縮小したりしたが、少しずつ戻りつつある。それでもかなり減った。(必要なものだけ残った)
- ・ 役員会が ZOOM になった。行事や係が減った。
- ・ コロナで外出や遠出ができなくなり、身近なところの自分の地域に目がいきました。
- ・ 活動が活発されている。
- ・ コロナ禍の後からは、活動、回数が少なくなったような気がします。参加者も高齢者が多くなった。
- ・ 開催場所での飲食を伴う親睦会がなくなった。

⑥ 現在、地域コミュニティ活動に参加していない理由

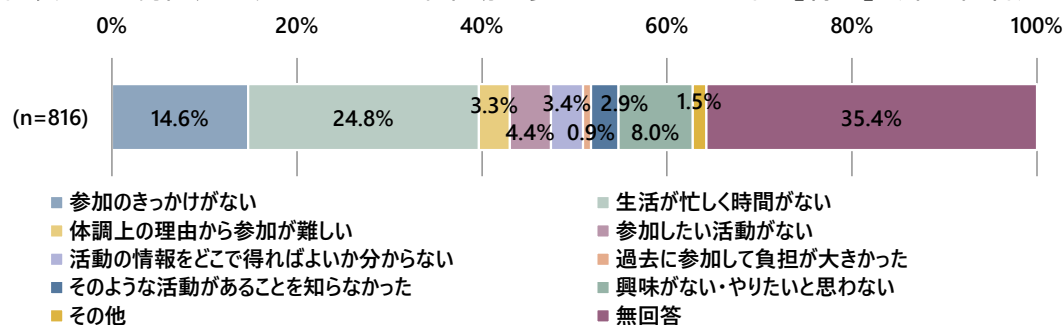
現在、地域コミュニティ活動に参加していない者に、その理由を複数回答で尋ねたところ、「参加のきっかけがない」の割合が最も高く 43.2%である。次いで、「生活が忙しく時間がない（40.6%）」、「活動の情報をどこで得ればよいか分からない（16.4%）」である。

図表 24 現在、地域コミュニティ活動に参加していない理由
(①で「以前は参加していたが、現在は参加していない」「これまで参加したことがない」と回答) (複数回答)



また、その中でも「特にあてはまるもの」を尋ねたところ、無回答を除くと「生活が忙しく時間がない」の割合が最も高く 24.8%である。次いで、「参加のきっかけがない（14.6%）」、「興味がない・やりたいと思わない（8.0%）」である。

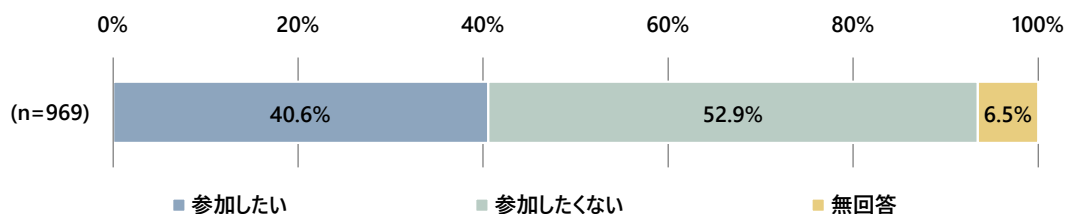
図表 25 現在、地域コミュニティ活動に参加していない理由【特に】(単一回答)



⑦ 今後新しく地域コミュニティ活動に参加したいか

今後新しく地域コミュニティ活動に参加したいかを尋ねたところ、「参加したくない」の割合が 52.9%、「参加したい」の割合が 40.6%である。

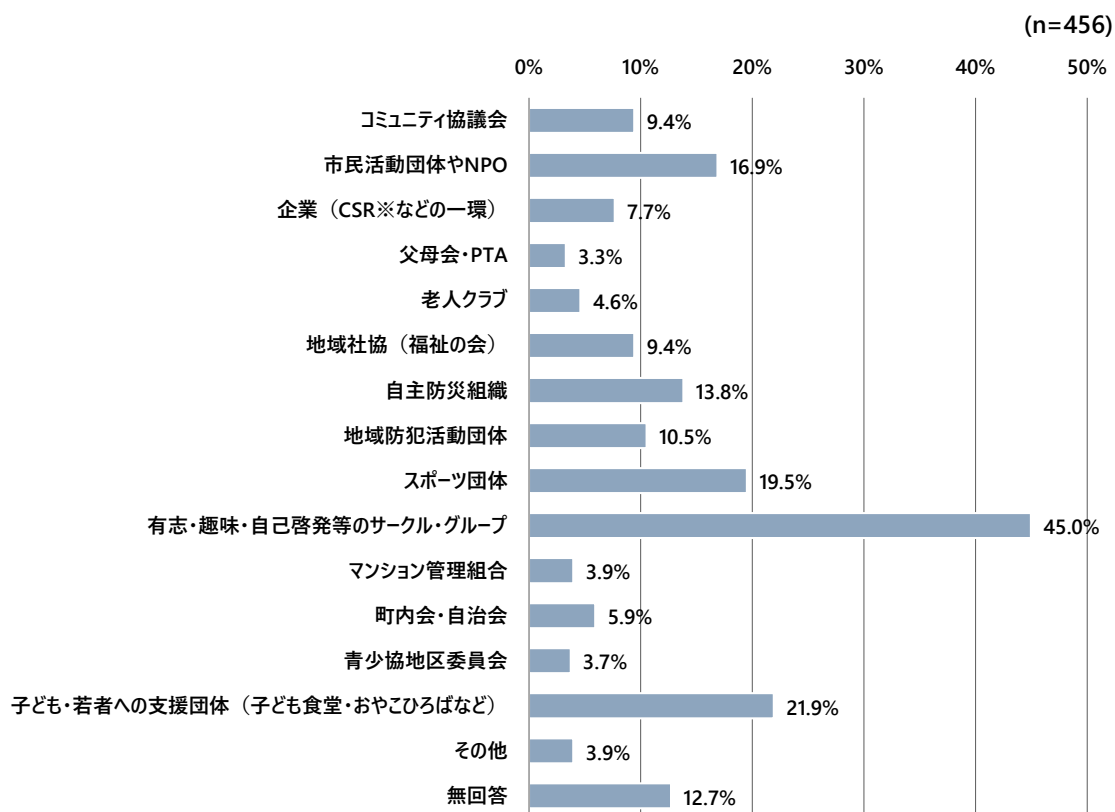
図表 26 今後新しく地域コミュニティ活動に参加したいか（単一回答）



⑧ 今後参加したい地域コミュニティ活動の団体

今後新しく地域コミュニティ活動に参加したいという者に、参加したい地域コミュニティ活動の団体を複数回答で尋ねたところ、「有志・趣味・自己啓発等のサークル・グループ」の割合が最も高く 45.0%である。次いで、「子ども・若者への支援団体（子ども食堂・おやこひろばなど）（21.9%）」、「スポーツ団体（19.5%）」である。

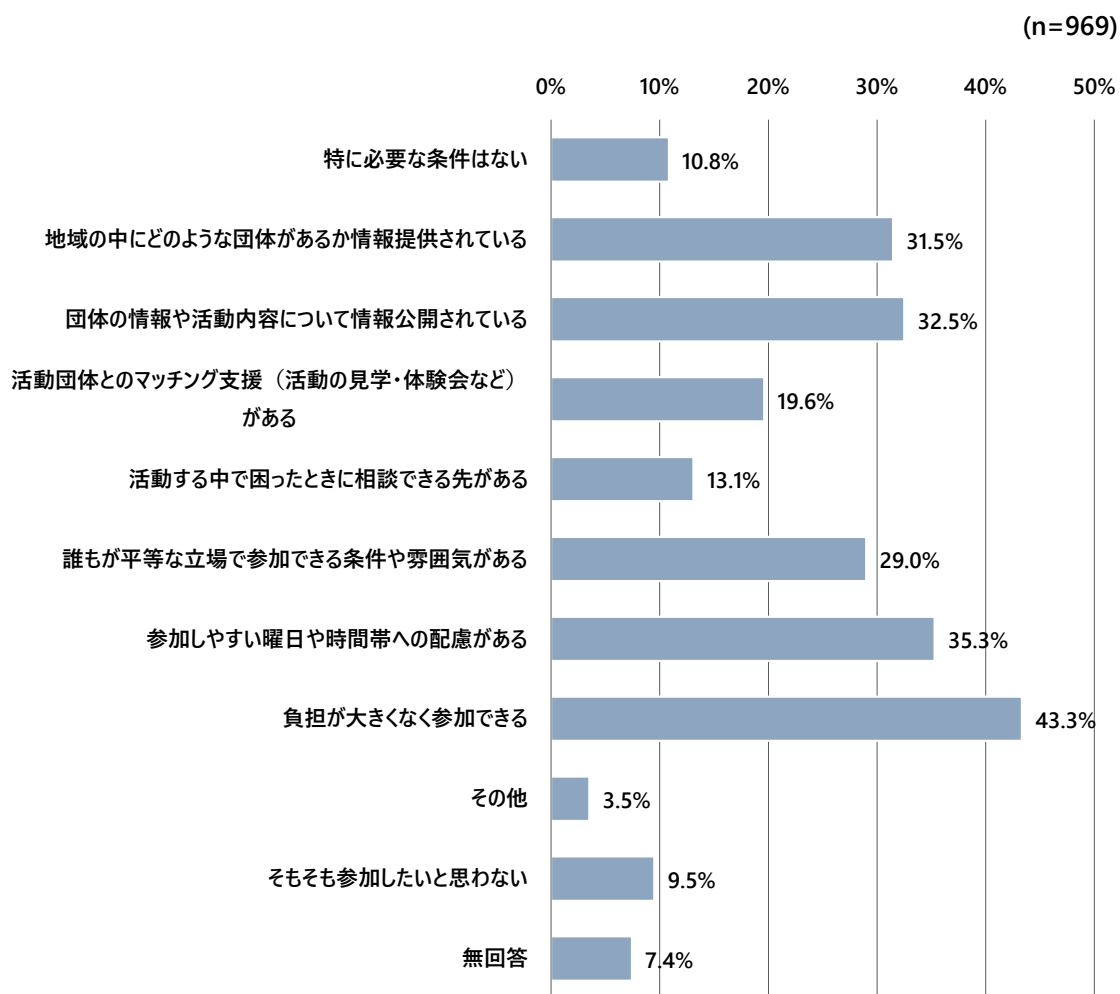
図表 27 今後参加したい地域コミュニティ活動の団体
（⑦で「参加したい」と回答）（複数回答）



⑨ 地域コミュニティ活動参加しやすくなるためにあるとよい条件

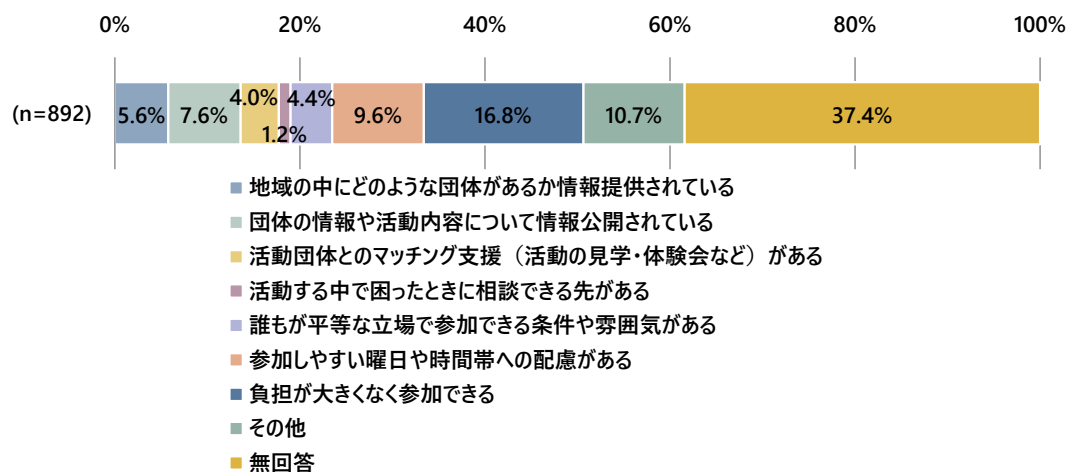
地域コミュニティ活動参加しやすくなるためにあるとよい条を複数回答で尋ねたところ、「負担が大きくなり参加できる」の割合が最も高く 43.3%である。次いで、「参加しやすい曜日や時間帯への配慮がある（35.3%）」、「団体の情報や活動内容について情報公開されている（32.5%）」である。

図表 28 あなたが地域コミュニティ活動参加しやすくなるためにあるとよい条件
(複数回答)



また、その中でも「特にあてはまるもの」を尋ねたところ、無回答を除くと「負担が大きくなり参加できる」の割合が最も高く 16.8%である。次いで、「その他（10.7%）」、「参加しやすい曜日や時間帯への配慮がある（9.6%）」である。

図表 29 あなたが地域コミュニティ活動参加しやすくなるためにあるとよい条件【特に】（単一回答）

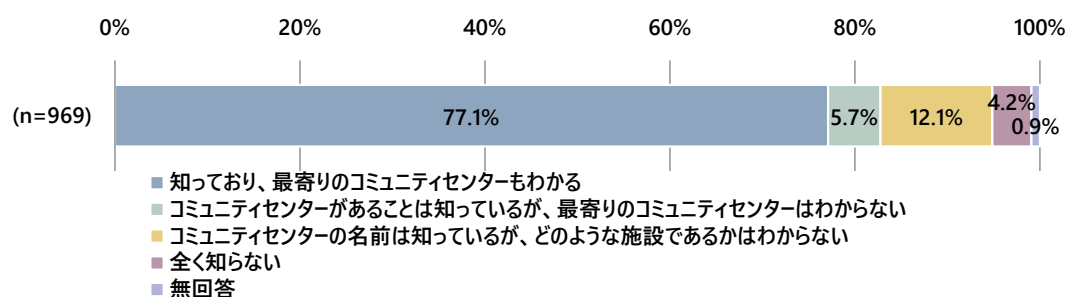


（４）コミュニティセンターについて

① 武蔵野市のコミュニティセンターを知っているか

武蔵野市のコミュニティセンターを知っているかを尋ねたところ、「知っており、最寄りのコミュニティセンターもわかる」の割合が最も高く 77.1%である。次いで、「コミュニティセンターの名前は知っているが、どのような施設であるかはわからない（12.1%）」、「コミュニティセンターがあることは知っているが、最寄りのコミュニティセンターはわからない（5.7%）」である。

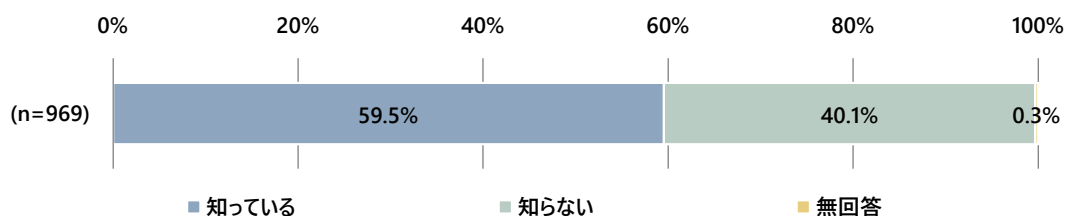
図表 30 武蔵野市のコミュニティセンターを知っているか（単一回答）



② コミュニティセンターが地域住民によって運営されていることを知っているか

コミュニティセンターが地域住民によって運営されていることを知っているかを尋ねたところ、「知っている」の割合が 59.5%、「知らない」の割合が 40.1%である。

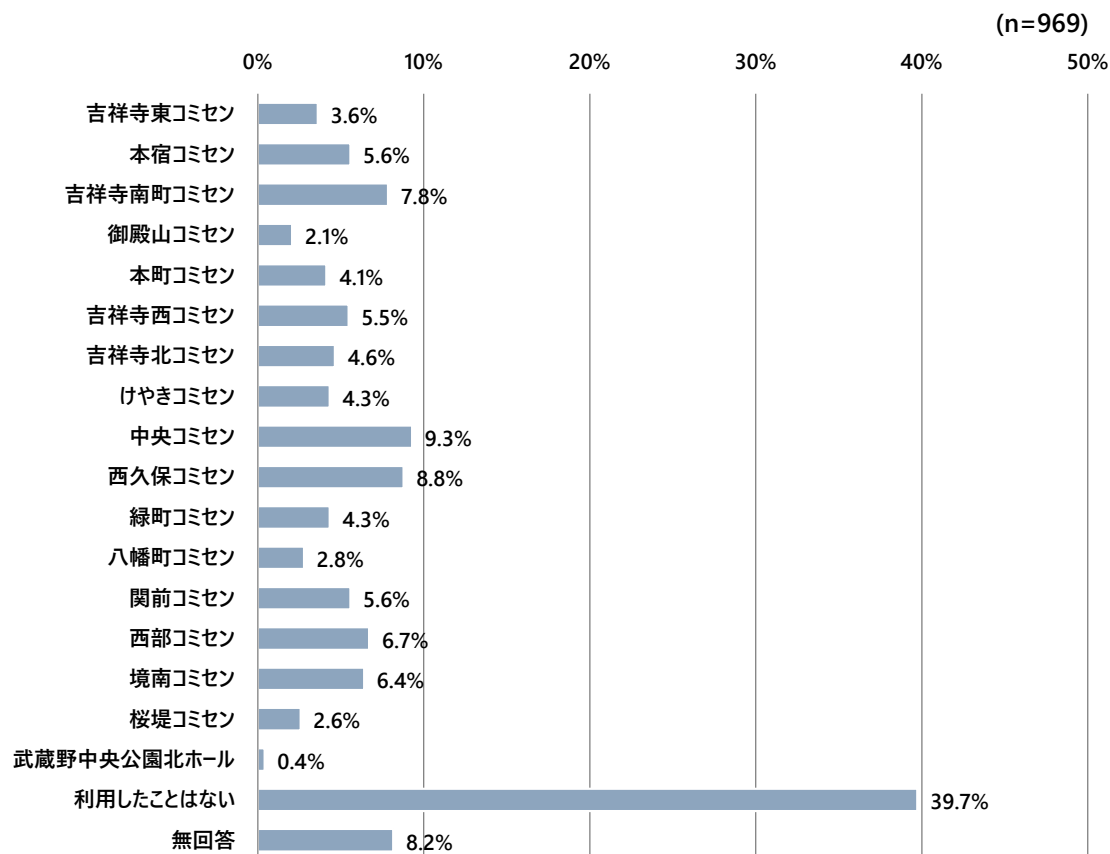
図表 31 コミュニティセンターが地域住民によって運営されていることを知っているか（単一回答）



③ 利用しているコミュニティセンター

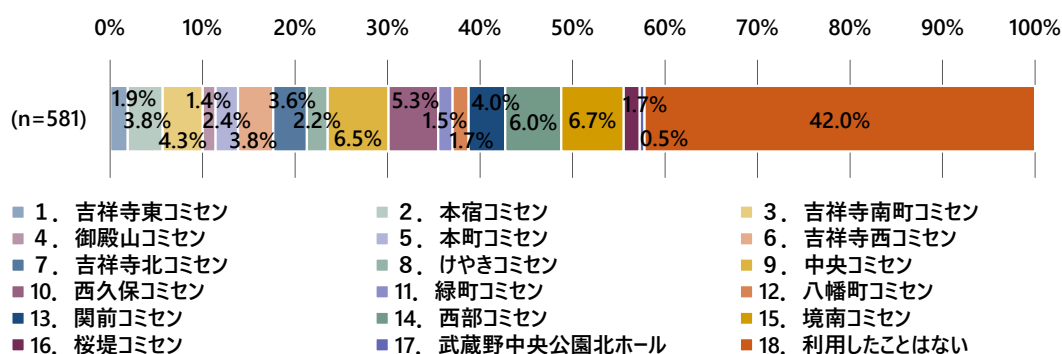
利用しているコミュニティセンターを複数回答で尋ねたところ、「利用したことはない」の割合が最も高く 39.7%である。利用したことがあるコミセンとして割合が高いのは、「中央コミセン (9.3%)」、「西久保コミセン (8.8%)」、「吉祥寺南町コミセン (7.8%)」である。

図表 32 利用しているコミュニティセンター（複数回答）



また、その中でも「最も利用しているもの」を尋ねたところ、「利用したことはない」を除くと「境南コミセン」の割合が最も高く 6.7%である。次いで、「中央コミセン（6.5%）」、「西部コミセン（6.0%）」である。

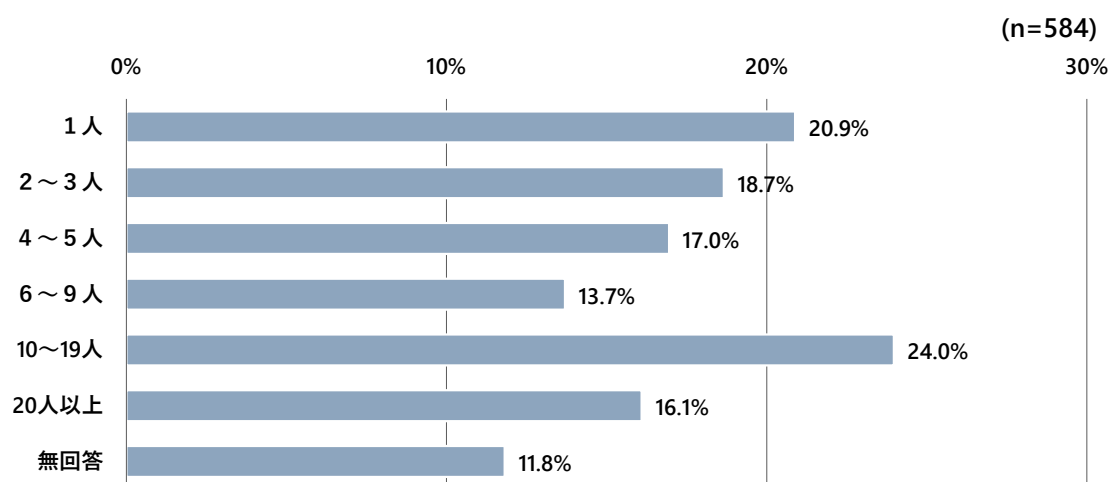
図表 33 利用しているコミュニティセンター【最も】（単一回答）



④ コミュニティセンターを利用する際の集まりの規模

コミュニティセンターを利用したことがある者に、利用する際の集まりの規模を複数回答で尋ねたところ、「10～19人」の割合が最も高く 24.0%である。次いで、「1人（20.9%）」、「2～3人（18.7%）」である。

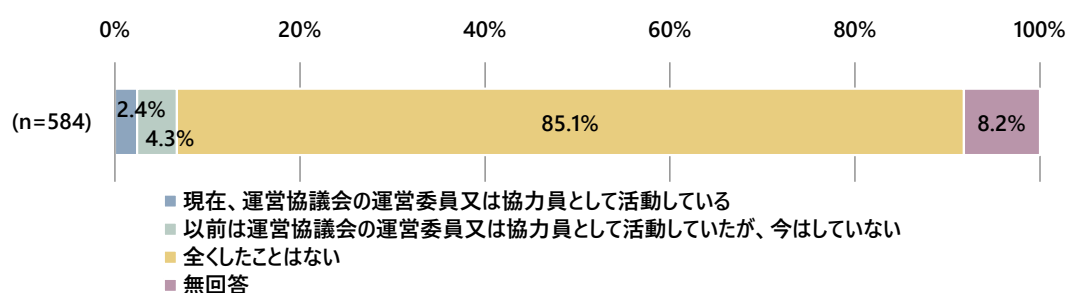
図表 34 コミュニティセンターを利用する際の集まりの規模
（③で「1～17」と回答）（複数回答）



⑤ コミュニティセンターの運営に携わった経験

コミュニティセンターを利用したことがある者に、コミュニティセンターの運営に携わった経験を尋ねたところ、「全くしたことはない」の割合が最も高く 85.1%である。次いで、「以前は運営協議会の運営委員又は協力員として活動していたが、今はしていない(4.3%)」、「現在、運営協議会の運営委員又は協力員として活動している(2.4%)」である（無回答を除き言及）。

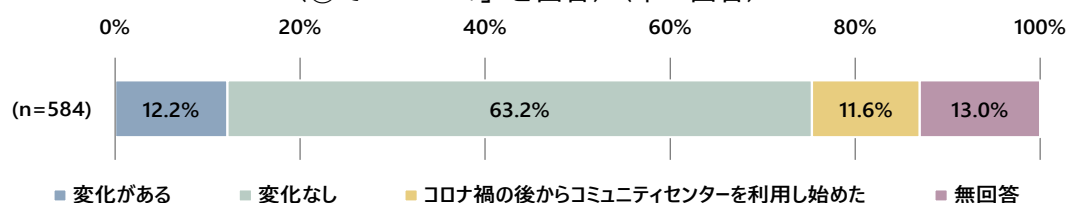
図表 35 コミュニティセンターの運営に携わった経験
(③で「1～17」と回答)(単一回答)



⑥ コロナ禍前と現在でのコミュニティセンターの利用に関する変化

コミュニティセンターを利用したことがある者に、コロナ禍前と現在でコミュニティセンターの利用に変化があるかを尋ねたところ、「変化なし」の割合が最も高く 63.2%である。次いで、「変化がある(12.2%)」、「コロナ禍の後からコミュニティセンターを利用し始めた(11.6%)」である（無回答を除き言及）。

図表 36 コロナ禍の前と現在でのコミュニティセンターの利用に関する変化
(③で「1～17」と回答)(単一回答)



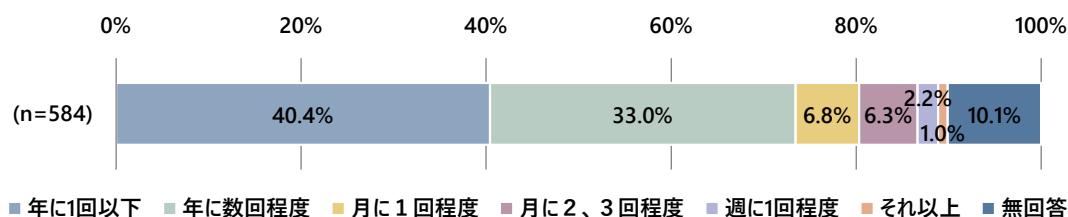
【具体的な変化に関する自由回答】※基本的には原文のまま記載しているが、一部表現等を修正している。

- ・ 健康体操に行っているが、コロナから回数が少なくなった。
- ・ コロナ禍まで月に2回定期的に利用していたが、コロナ禍を機にやめた。
- ・ 使用回数がコロナ禍の後、大変少なくなった。
- ・ 飲食せず、常にマスクをしている。
- ・ 館内の消毒・清潔をきちんとする。人数制限が厳しくなった。
- ・ 新しい人(若い人)が、参加せず、高齢化が進んでいる感じがする。

⑦ コミュニティセンターの利用頻度

コミュニティセンターを利用したことがある者に、コミュニティセンターの利用頻度を尋ねたところ、「年に1回以下」の割合が最も高く40.4%である。次いで、「年に数回程度（33.0%）」、「月に1回程度（6.8%）」である（無回答を除き言及）。

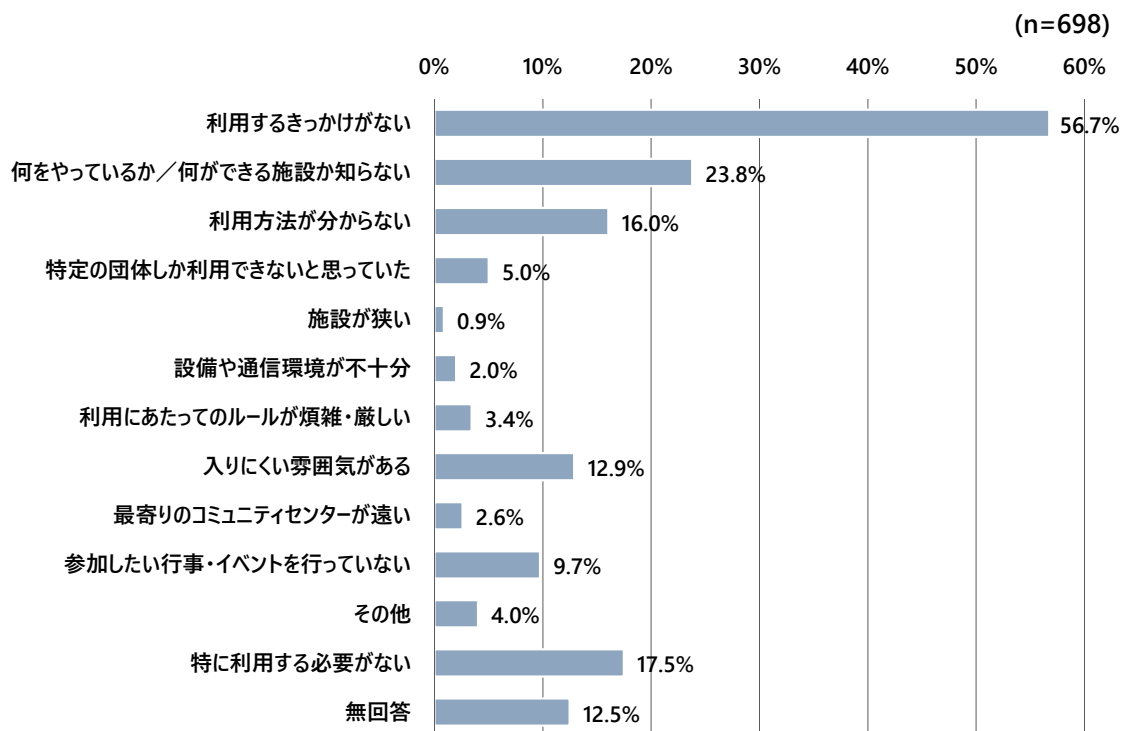
図表 37 コミュニティセンターの利用頻度
（③で「1～17」と回答）（単一回答）



⑧ コミュニティセンターを利用したことがない・あまり利用していない理由

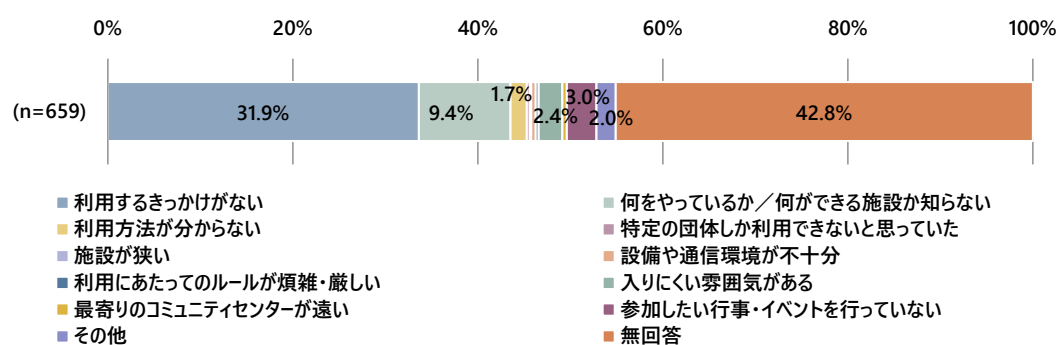
コミュニティセンターを利用したことがない・あまり利用していない者に、その理由を複数回答で尋ねたところ、「利用するきっかけがない」の割合が最も高く56.7%である。次いで、「何をやっているか／何ができる施設か知らない（23.8%）」、「特に利用する必要がある（17.5%）」である。

図表 38 コミュニティセンターを利用したことがない・あまり利用していない理由
（③で「利用したことはない」または⑦で「年に1回以下」と回答）（複数回答）



また、その中でも「特にあてはまるもの」を尋ねたところ、無回答を除くと「利用するきっかけがない」の割合が最も高く 31.9%である。次いで、「何をやっているか／何ができる施設か知らない（9.4%）」、「参加したい行事・イベントを行っていない（3.0%）」である。

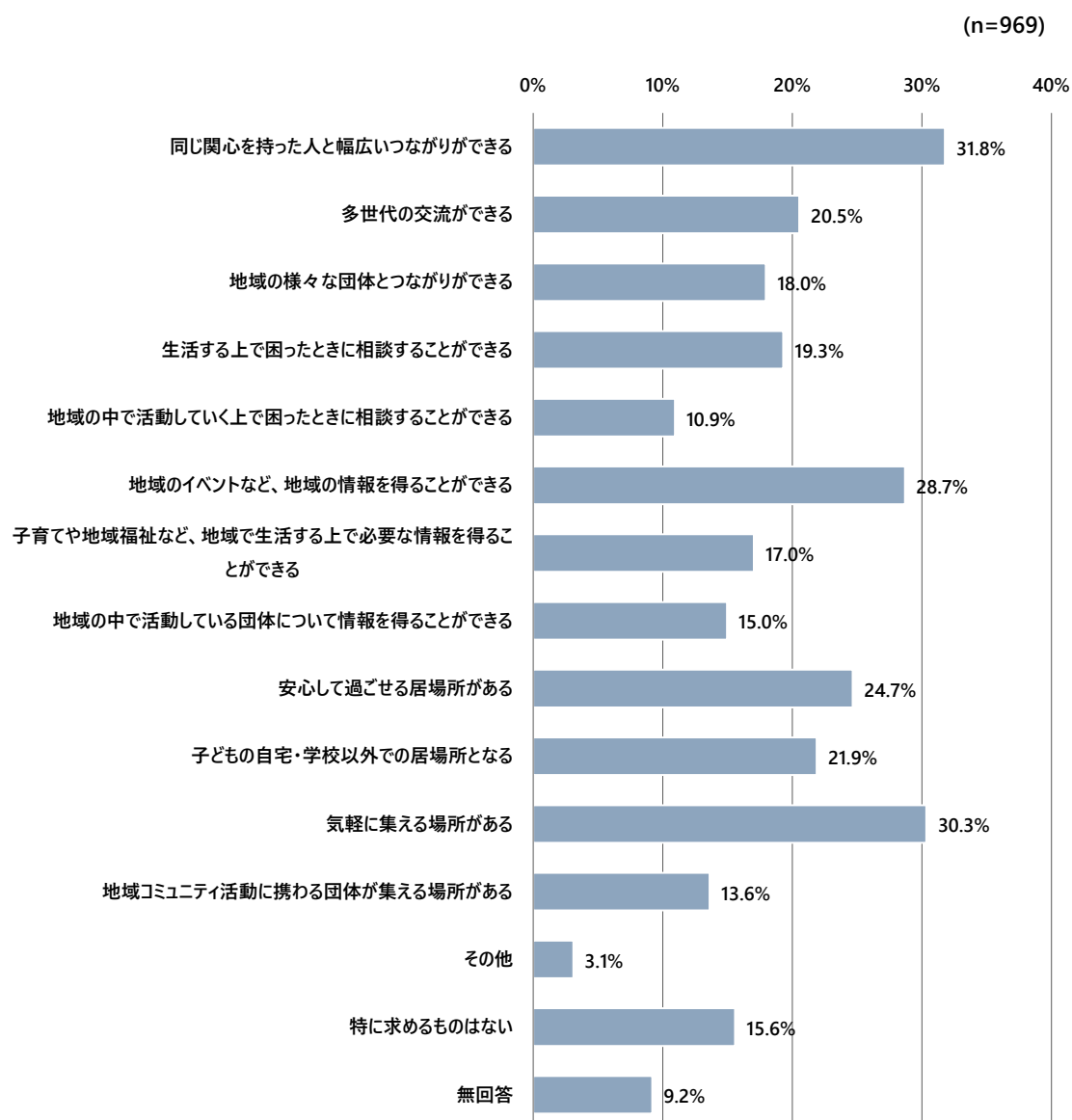
図表 39 コミュニティセンターを利用したことがない・あまり利用していない理由
【特に】（単一回答）



⑨ コミュニティセンターに求める機能・役割

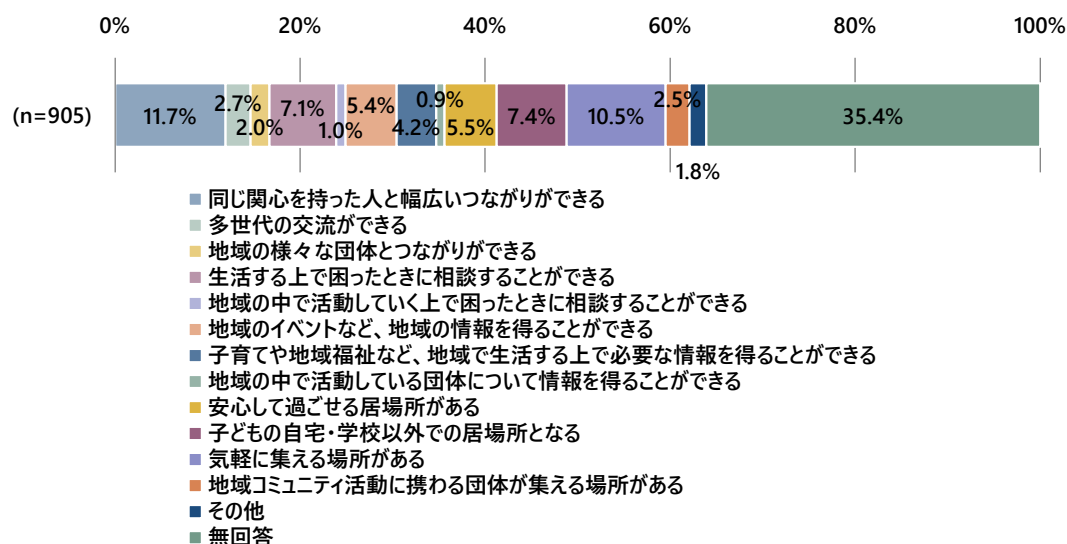
コミュニティセンターに求める機能・役割を複数回答で尋ねたところ、「同じ関心を持った人と幅広いつながりができる」の割合が最も高く 31.8%である。次いで、「気軽に集える場所がある（30.3%）」、「地域のイベントなど、地域の情報を得ることができる（28.7%）」である。

図表 40 コミュニティセンターに求める機能・役割（複数回答）



また、その中でも「特にあてはまるもの」を尋ねたところ、無回答を除くと「同じ関心を持った人と幅広いつながりができる」の割合が最も高く 11.7%である。次いで、「気軽に集える場所がある（10.5%）」、「子どもの自宅・学校以外での居場所となる（7.4%）」である。

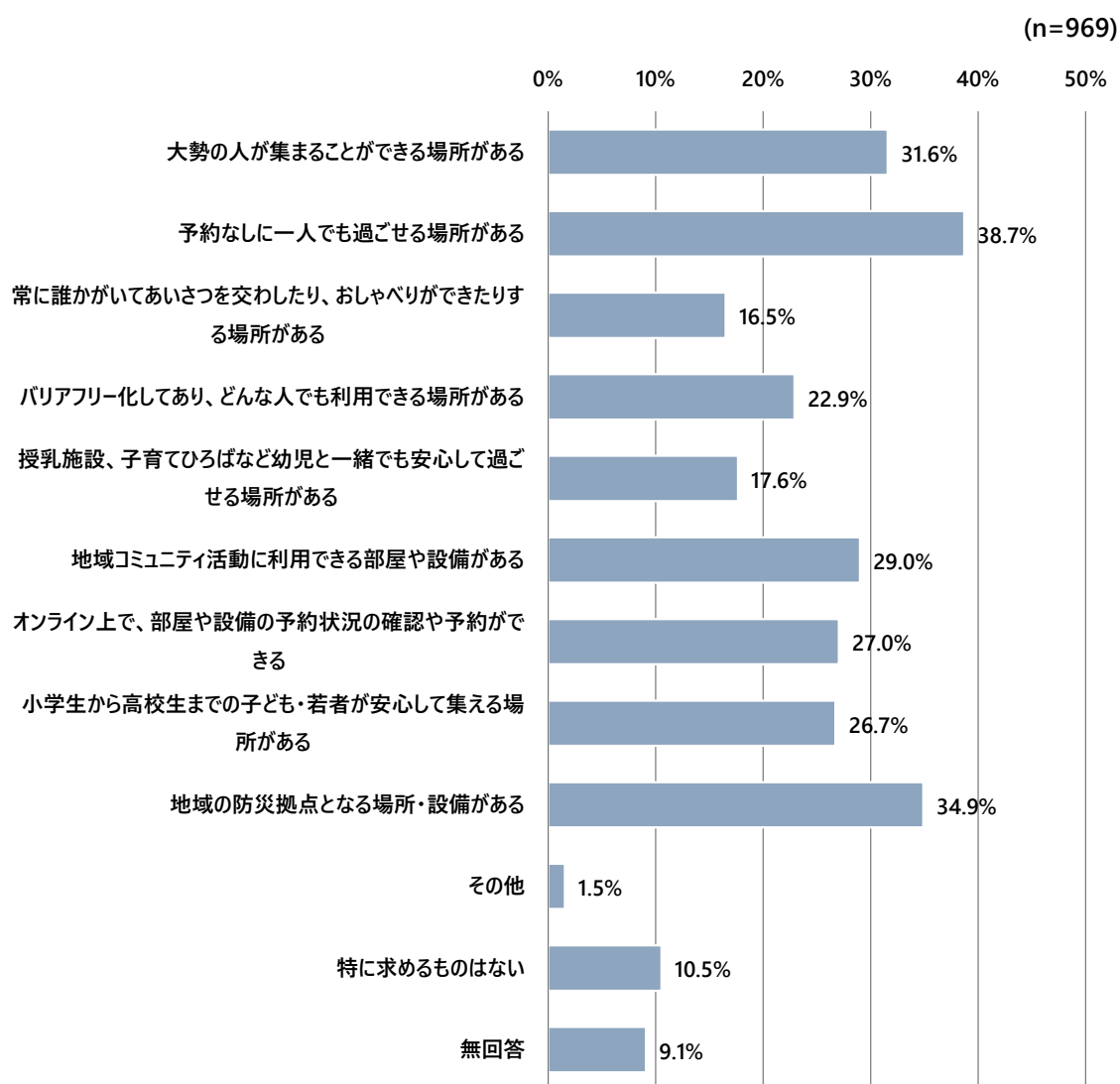
図表 41 コミュニティセンターに求める機能・役割【特に】（単一回答）



⑩ コミュニティセンターに求める空間や設備

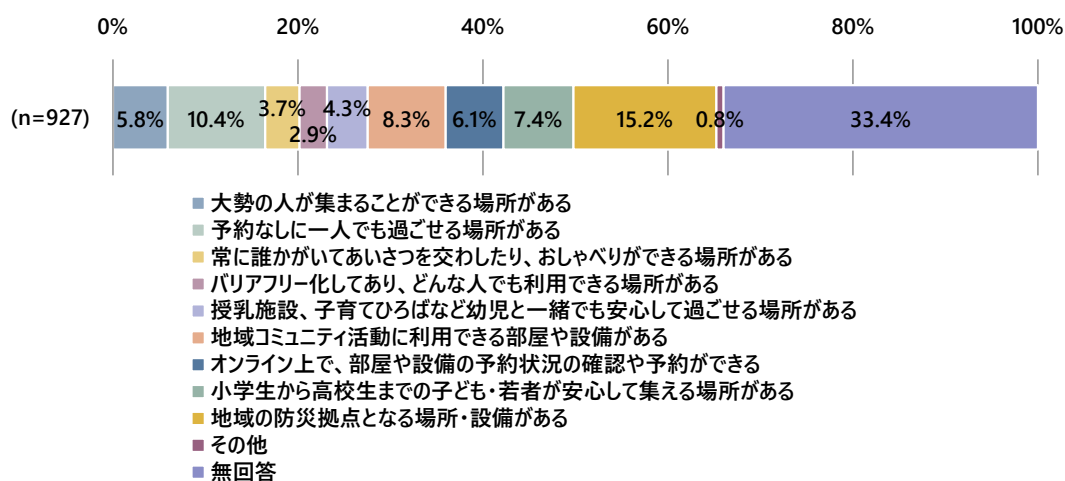
コミュニティセンターに求める空間や設備を複数回答で尋ねたところ、「予約なしに一人でも過ごせる場所がある」の割合が最も高く 38.7%である。次いで、「地域の防災拠点となる場所・設備がある（34.9%）」、「大勢の人が集まることができる場所がある（31.6%）」である。

図表 42 コミュニティセンターに求める空間や設備（複数回答）



また、その中でも「特にあてはまるもの」を尋ねたところ、無回答を除くと「地域の防災拠点となる場所・設備がある」の割合が最も高く 15.2%である。次いで、「予約なしに一人でも過ごせる場所がある（10.4%）」、「地域コミュニティ活動に利用できる部屋や設備がある（8.3%）」である。

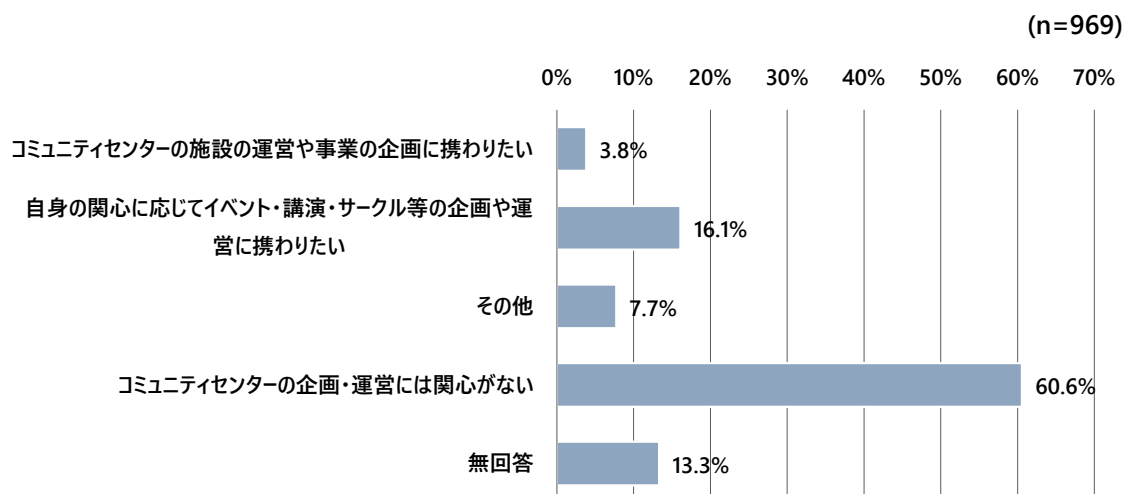
図表 43 コミュニティセンターに求める空間や設備【特に】（単一回答）



⑪ コミュニティセンターの運営・企画などに参加したいと思うか

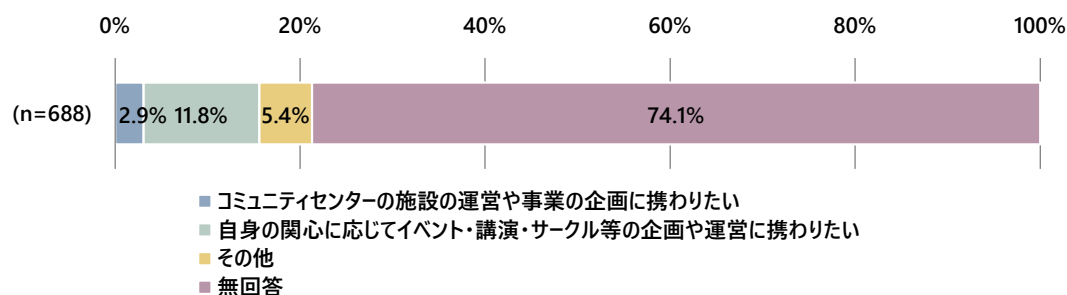
コミュニティセンターの運営・企画などに参加したいと思うかを複数回答で尋ねたところ、「コミュニティセンターの企画・運営には関心がない」の割合が最も高く 60.6%である。次いで、「自身の関心に応じてイベント・講演・サークル等の企画や運営に携わりたい（16.1%）」、「その他（7.7%）」である（無回答を除き言及）。

図表 44 コミュニティセンターの運営・企画などに参加したいと思うか（複数回答）



また、その中でも「特にあてはまるもの」を尋ねたところ、無回答を除くと「自身の関心に応じてイベント・講演・サークル等の企画や運営に携わりたい」の割合が最も高く 11.8% である。次いで、「その他 (5.4%)」、「コミュニティセンターの施設の運営や事業の企画に携わりたい (2.9%)」である。

図表 45 コミュニティセンターの運営・企画などに参加したいと思うか【特に】
(単一回答)



⑫ コミュニティセンターにおいて活動してみたいこと

【自由回答】※基本的には原文のまま記載しているが、一部表現等を修正している。

- ・ 交通心理学の研究をしており、高齢化社会に向け、事故防止などの発表をしたいと考えております。
- ・ 子供から高齢の方まで楽しめる食事交流会。
- ・ ピラティスインストラクターの資格をとる予定なので、ピラティスのお教室をやってみたいです。でも、集客の仕方やレッスン料をいかほど頂いても良いものなのか等、さっぱり分かりません。コミセンで活動してみたいとは思っているものの、手順が分からないので、なかなか一歩が踏み出せません。
- ・ 地域の年配の方と交流するため、味噌作りや料理教室などやってみたい。
- ・ 私はエアロビクスインストラクター、ジャズダンスインストラクターでした。現在、貧困で習い事ができない主婦層、子供たちに“格安”でダンスを教えたいです。主催する側も費用がかかるから無料にはできませんが、ストレッチ教室、官足法教室もひらきたいです。塾に行けない子どもに勉強も教えられます（小学校全教科、免許を持っている為）。遠くに高いお金を払って習い事に行くのではなく、すぐそばにいつでもインストラクターがいてみんなと顔を合わせられる…私は地域の為にダンスで貢献したいです。
- ・ 地域の子どもを対象としたイベントの開催などに携わってみたいです。
- ・ チャリティーコンサート、イベントの企画、運営などをしてみたいです。
- ・ ウクレレ、ゴスペル、高齢者にピアノをおしえたい。身体を動かすことなど。
- ・ 前述しましたが、「麻雀プロとして麻雀の普及活動をしたい」と考えております。未経験者に麻雀の楽しさを知ってもらう講座を開いて、講座を全部受講した方向けの健康麻雀教室へと移行していただきたいです。既に立川市で同様の講座をやった経験があり、現在も麻雀教室を主宰しております。
- ・ 自分が生きて来て学んだこと、培ってきたノウハウ、これらを次の世代に伝えたいです。
- ・ 資格を活かして、一般向けのヨガ教室やマタニティヨガ・産後ヨガ教室を開催し、地域に貢献したい。